

22 新交通ネットワークの整備推進について

(国土交通省関係)

要望内容

- 1 新交通西風新都線の整備の財源確保
- 2 新交通ネットワークの設備更新に対する財政支援の拡充

(要 旨)

本市では、鉄道やバス等の公共交通を道路と同様に「社会インフラ」として捉えた上で、ハード・ソフト両面で利便性が高く、持続可能な「広島型公共交通システム」の構築に向けた取組を進めているところです。

このうち、本市の基幹公共交通の一つと位置付けているアストラムラインについては、平成6年、広域拠点であるひろしま西風新都と都心部を結ぶ約18.4kmが開業し、平成27年には新白島駅が完成したことで、JR山陽本線と結節しています。

今後、アストラムラインの終点となっている広域公園前駅からJR西広島駅までの間を新交通西風新都線として延伸整備することにしており、これにより、JR山陽本線と一体となって、軌道系の基幹公共交通による循環型ネットワークが形成され、都心と西風新都間の循環を創出するとともに、広島広域都市圏内の各市町との結び付きを深め、ヒト・モノ・カネ・情報の更なる好循環を生み出すものと考えています。現在、都市計画決定や特許取得に向け、関係機関との協議・調整など手続きを進めており、本年3月から4月にかけて計画案の地元説明会を開催するなど、着実に延伸事業を進めているところです。

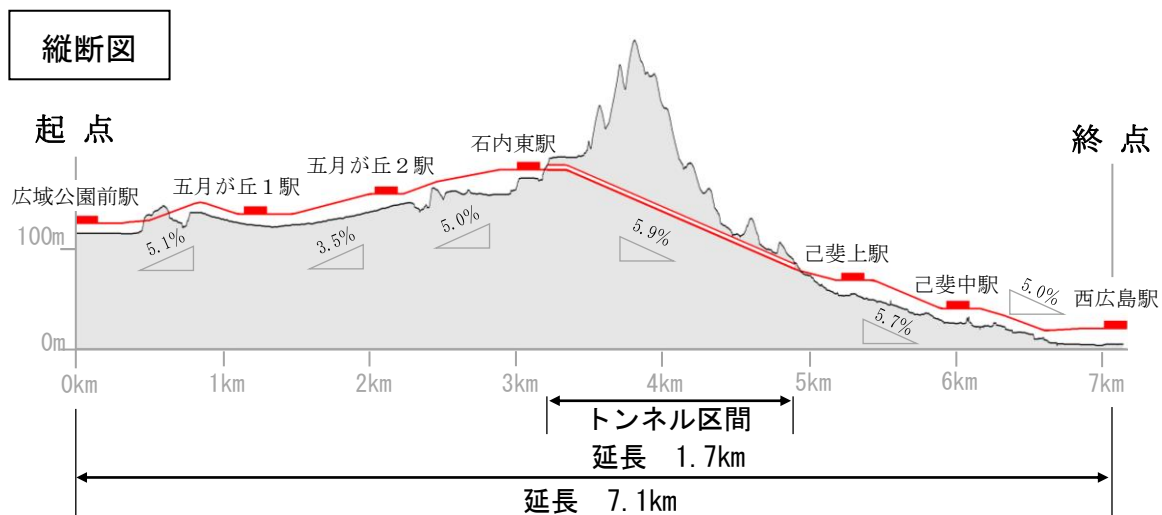
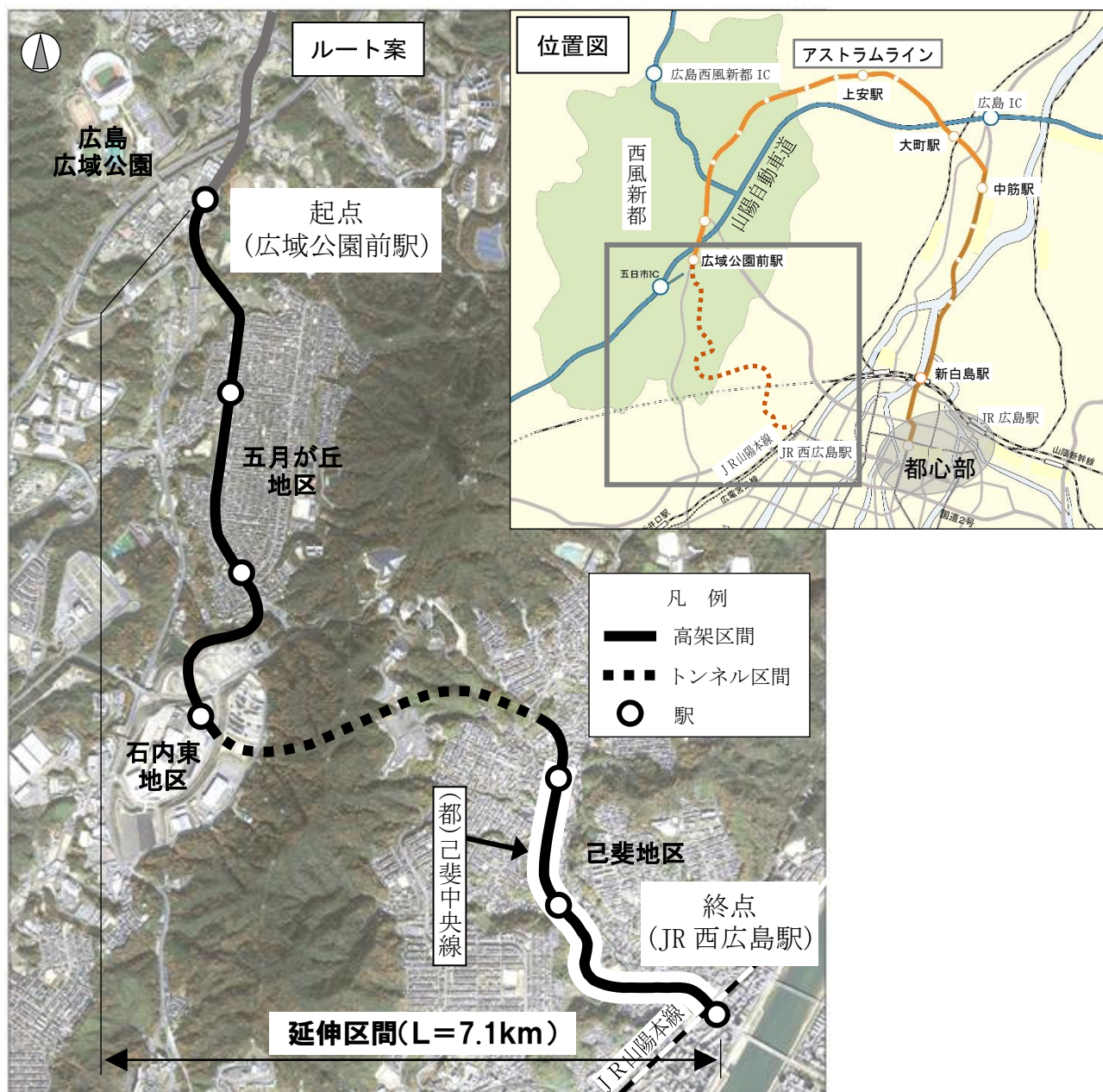
その一方で、アストラムラインは開業から30年が経過し、運行に不可欠な受変電設備を始めとする設備等の老朽化が進んでいることから、設備機器の更新が本格化しています。

今後、新交通ネットワークの充実・強化を図りつつ、安定的な運行を維持するためには、延伸整備に対する支援に加え、交通事業者の設備更新に対する財政支援の拡充が必要です。

つきましては、新交通西風新都線の整備のための財源確保と新交通ネットワークの設備更新に対する財政支援の拡充について、格別の御配慮をお願いいたします。

(参 考)

新交通ネットワークの計画（新交通西風新都線のルート概略図）



※ 各駅間の勾配は駅間の最急勾配を示している。
※ 駅の名前は全て仮称である。